



みなみいづ 町議会だよい

No. 68号
2017年
平成29. 2. 1

発行／南伊豆町議会 編集／議会広報編集委員会 〒415-0392 静岡県賀茂郡南伊豆町下賀茂315-1 TEL0558(62)6240
E-mail:gikaij@town.minamiizu.shizuoka.jp



平成29年1月4日 消防団出初式

12月定例会を12月6日から7日まで2日間の会期で開催しました。

主な内容	● 議長新年のご挨拶	
	平成28年12月定例会2~3
	● 一般質問4~11
	● 未来を担う子ども達、みなみいづ元気びと	
	町議会議員台湾トップセールス報告12



新年のご挨拶

南伊豆町議会議長 稲葉勝男

明けましておめでとうございま
す。

平成29年的新しい年を迎え、謹
んで新年のご挨拶を申し上げます。

国は、「アベノミクス」が一定
の功を奏したと評価しております
が、我々地方でも実感できるよう
持続的な成長に舵取りを期待する
ところであります。

我が町に目を転じれば、依然と
して基幹産業である観光を中心には
各種産業の低迷、急速な少子高齢
化による本格的な人口減少、防
災・減災対策等多くの課題が山積
しております。

このようなかで、昨年は、石廊
崎ジヤングルパーク跡地利用計画
における道路工事、自治体間連携
による杉並区特別養護老人ホーム
建設工事等に着手するなど計画が
具現化された年でもあります。

今後も、町議会へのご指導、ご
支援を賜りますようお願い申し上
げます。

結びにあたり、町民の皆さまの
益々のご健勝とご多幸を祈念し、
新年の挨拶といたします。

さて、本年は、福祉行政の拠点
である(仮)健康福祉センター建設な
ど総合計画の基本理念や、地方創
生の総合戦略に位置付けられた取
り組みを計画から実施へ進め、活
性化を前進させる必要があります。
小規模自治体には非常に厳しい
激動の時ですが、「挑戦する南伊
豆町」でありたいということが我々
議会の気持ちであり、主権者であ
る皆さまの付託を厳肅に受け止め、
町民全体の福祉向上を議会で実現
し、信頼され開かれた議会を創る
ため議会基本条例の制定を目指し
てまいります。

平成28年度 一般会計・特別会計補正予算可決

総額 84,774千円！

■一般会計……………74,591千円
■特別会計……………10,183千円

○国民健康保険……………	6,269千円
○介護保険……………	614千円
○公共下水道事業……………	3,300千円

平成28年12月議会定例会審議結果

No.	議案番号	件目	議決年月日	結果	岡部克仁	渡邊哲	比野下文	加畠毅	長田美喜彦	清水一	漆田修	齋藤要	渡邊嘉郎	嶋隆二
1	議第115号	南伊豆町監査委員の選任について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
2	議第116号	南伊豆町固定資産評価審査委員会委員の選任について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
3	議第117号	南伊豆町職員の配偶者同行休業に関する条例の一部を改正する条例制定について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
4	議第118号	南伊豆町特別職の常勤の者の給料等に関する条例の一部を改正する条例制定について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
5	議第119号	南伊豆町一般職の職員の給与に関する条例の一部を改正する条例制定について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
6	議第120号	南伊豆町税賦課徴収条例の一部を改正する条例制定について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
7	議第121号	南伊豆町国民健康保険税条例の一部を改正する条例制定について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
8	議第122号	南伊豆町介護保険条例の一部を改正する条例制定について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
9	議第123号	南伊豆町公共下水道料金等審議会設置条例の一部を改正する条例制定について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
10	議第124号	静岡県市町総合事務組合規約の一部を変更する規約制定について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
11	議第125号	南伊豆町ふるさと親善大使設置条例制定について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
12	議第126号	平成27年度社会資本整備総合交付金(都市防災)三坂地区防災センター建築工事変更契約の締結について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
13	議第127号	東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町指導主事共同設置規約制定について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
14	議第128号	東伊豆町、河津町、南伊豆町、松崎町及び西伊豆町指導主事共同設置事業特別会計条例制定について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
15	議第129号	静岡県及び南伊豆町に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	×	×
16	議第130号	下田市及び南伊豆町に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
17	議第131号	東伊豆町及び南伊豆町に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
18	議第132号	河津町及び南伊豆町に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
19	議第133号	松崎町及び南伊豆町に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
20	議第134号	西伊豆町及び南伊豆町に係る連携協約の一部を変更する協約の締結について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	×
21	議第135号	平成28年度南伊豆町一般会計補正予算(第4号)	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
22	議第136号	平成28年度南伊豆町国民健康保険特別会計補正予算(第3号)	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
23	議第137号	平成28年度南伊豆町介護保険特別会計補正予算(第2号)	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
24	議第138号	平成28年度南伊豆町公共下水道事業特別会計補正予算(第3号)	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
25	発議第3号	地方議会議員の厚生年金制度への加入を求める意見書の提出について	12月7日	可決	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○

賛成：○ 反対：×

※議長 稲葉勝男は採決に加わっておりません。

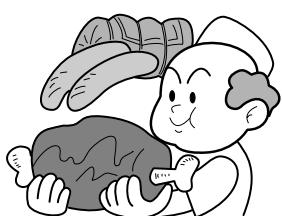
一般質問

町長に聞きました



漆田 修 議員

る事や、放置作物の撤去など、ジビ工は学校給食を視野に今後注視し乍ら展開したい。



野生鳥獣の被害対策

質問 6年前より東小学校の野外活動として穀類の共同栽培をしているが、今年度は猪被害に遭い全滅であった。国の鳥獣行政は大きな転換期にあるが、その取り組み等は如何か。

質問 当町の対策実態はどうか。捕獲の強化対策・防除の為の補助制度・ジビ工（食肉用）利活用等について如何なっているのか。

町長 「抜本的な鳥獣捕獲強化対策」が公表され、捕獲目標達成に向けた対策推進などが示され、対策交付金その他、森林被害緊急対策事

業などが実在する。

質問 里山構想と緩衝地帯の生成は、林野庁の施業基本計画や総務省緑の分権改革で示唆する個別施策と鳥獣対策や農耕意欲の増進に対し当局の認識見解は。

企画課長 バイナリーを含む“緑の分権”的意志は脈々と続いており、バイオマスガス燃焼手法で、南上地区財産区山林を対象に検討を計るなど調査意向である。

ジャングルパーク跡地

質問 賦存量調査等では、良好な結果が出ており当局

町長 前年对比イノシシは10%増、シカ1.6倍の捕獲増となり被害金額も増加傾向にある。1月には蛇石地区でICT“箱わな”を進め

第一編の寺院編は完了し次段の「神社・石像物」編に入るが、当町を含む伊豆の国には古墳時代の祭祀跡が多く、歴史時代に入つてから神社になる場合が多く、平安中期撰上された「延喜式」神名帖“式内社”に記載される神社が多い。「増訂豆州志稿」や「三宅記」に記述される様な渡来神が多く見在され、改めて編集統括者である教育長の其れに対する認識を賜わりたい。

教育長 調査にあたり編さ

教育長 興味深く拝聴した。今後積極的に検討したい。

の前向きな事業展開をお願いし乍ら石廊崎問題に移る。冒頭の町長の行政報告中、石廊崎オーシャンパーク構想が述べられた。質問通告内容の答えが既に織り込まれていた為、此々では差し控え度い。内容は町広報誌等を参照されたい。

町史編さんと 条里制

ん委員が聞き込み、成り立ち、変遷等を記録・執筆しそうな作業の段階に入っています。今後外部支援要請などを視野に計画的な編さん作業に努めたい。

質問 律令制度下における南伊豆の条里制調査の為の予算化について問う。改新後の中央集権国家成立の中で諸制度が整備され、田制や条里制・各種税制もつくられた。全国の農民が土木工事に徴用され、国・郡毎に条里が定められ特に田方郡には「沼津市誌特集2」や三島市教育委員会「国分寺と条里制」などの文献から当時を伺い知る事が可能である。町内における条里に関する「字名」は一条・二条・三条・五条・九条・森条などがあり石井坪・三の坪・中坪など特に中坪に注視すると、一条里36坪の真ん中に位置するものと理解され、条里調査に対する認可と予算化について問う。



渡邊 哲 議員

町長選挙出馬

議員からもお話ししがでましたように本当に象徴的な事業が「エクレシア南伊豆」でございます。私達の町を私達で守るため町民の皆様ひとりひとりが町政に参加し、次の世代を担う子供達に自信をもって引き継げる町創りを町民の皆様と創りあげていきたい、そう考えております。

まだまだ道半ば、私の町政は完結しておりません。

私達が目指すべき「持続可能な南伊豆町」の実現に向

けた各種施策についても今後とも町民の皆様のお役にたちたい。またそのことが私の責務と考えております。

「21世紀、わたしたちの住む町、あなたと創る町」私

のスローガンでもあります。

「町民の町民による町民のための政治」ミニ集会も37

回300余人と対話を重ね、自

身の財産となりました。今後とも南伊豆町のため、重ねて申しあげます。「皆様とともにがんばりたい。」

私は梅本和熙は出馬いたします

質問 町長は25年4月21日当選をされまして5月15日初登庁でございました。3年半が過ぎました。残すところ半年余り。その間に数々の公約を実践されまして、まさに有言実行の町長であると考へるのは私だけではございません。ここで私がその事業を取り上げるまでもなく、特に11月29日に行われました、日本初の杉並区との自治体間連携の特養である「エクレシア南伊豆」の起工式は町長をはじめ多くの町民の皆様にとって感概深いものであったと思いまます。特に少子高齢化、財

政の厳しいなか近未来の町政を誰に託すのか。それはまさに梅本和熙君、そう考えるのは町民の皆様の願望であると考えます。きたる4月25日告示、30日投開票の町長選挙に出馬する意向があるのか、お答え願いたい。

町長 町民の皆様からの力強いご支援とご厚情を賜り25年4月21日に当選の栄に浴し5月15日に就任いたしました。責任の重大さを痛感しつつ公約に掲げた施策の実現に向けて邁進してまいりました。

「町民の町民による町民のための政治」ミニ集会も37回300余人と対話を重ね、自身の財産となりました。今後とも南伊豆町のため、重ねて申しあげます。「皆様とともにがんばりたい。」私は梅本和熙は出馬いたします





加畠 敏議員

戦略的な インバウンド事業推進

質問 町で推進しているインバウンド事業について、ターゲットを特定少數に切り替えてはどうか。10月の台湾視察の中では、台湾が学生の国際交流に注力している点を同行した職員も含めて明確に感じ取った。学生教育旅行の中に当町を訪れるコースを常設できれば、一定の来訪客を確保することができる。このパターンを応用すれば、費用対効果は上がっていくと考える。不特定多数の観光客をターゲットにしたPR合戦や、キャラバン隊活動では、なかなか効果が上がらないこ

とに、関係者は気付き始めているのではないか。台湾視察中に交流した「青年救國団」のメンバーが、1ヶ月後の11月25日には早速に当町を訪れ青少年交流を目指す宣言を取り交わし、伊豆新聞にも掲載された。今後の方針はいかがか。



町長 10月の議員視察を兼ねたトップセールスには多数のご参加を賜り、ありがとうございました。ハードな日程の中、各方面に精力的に働きかけていただいたと伺っています。効果と伺っております。効果として、来年2月の文華高級中学校教育旅行コースに当町を組み入れていただけることになりました。また、

議員のご指摘は私も思っており、首長トップセールスにおいても、熱海があり、伊東があり、修善寺があり、そういう大規模な観光地と当町のような小さな受け入れ態勢では、宣伝活動には非常に差があり難しいと感じていました。近年、当町におけるインバウンド事業では台湾を重点対象として取り組んでおり、具体的には、現地旅行博への出展やトップセールスなどにより旅行商品化を働きかけております。受け入れ環境の整備においては、観光案内所への英語・台湾語通訳の常駐や本町に宿泊する団体が使用する貸し切りバスなどの助成など実施しております。6月に当町政策アドバ

イザーに任命した林氏の働きかけによる台湾国際教育旅行連盟のモニターツアーの実施、また、台湾の各種団体等との関係構築に努めております。



上から富士山を見てもらつて、伊豆半島へ入ってきていただいて、その中で、食材のおいしいものを食べていただかないと魅力は伝わらないと思います。学生旅行に関してもホームステイを活用して、他にない魅力を感じてもらうことが重要だと思います。



下田JJC主催ワーキシヨップの事例に基づく、耕作放棄地の利活用

※質問し、答弁があつた。

達に支援をする考え、予算化していく考えは。

町長 どういう型にしていくかを含めて今後検討していきたいと思います。



長田美喜彦 議員

教育交流の考え方

質問 10月20日、台湾に教育旅行誘致のトップセールスに行きました。そのときには教育連盟総会長のセツ会長より来年2月に72名の南伊豆町への訪問を約束されました。

町長 教育旅行においては、受け入れを考えているのか。そして、どのようにそれをつなげていくのか。

年救国団のヨンさんを団長として20名ほどが来町されました。これも教育に関しての交流目的であります。

質問 11月24日には台湾中国青年救国団のヨンさんを団長として20名ほどが来町されました。これも教育に関しての交流目的であります。

町長 教育旅行においては、受け入れを考えているのか。そして、どのようにそれをつなげていくのか。

どのように町が考え進めていくのか。

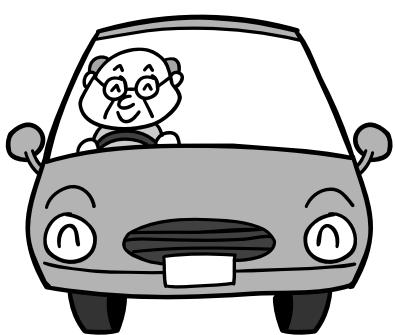
町長 年齢や地理的理由により公共交通機関を利用することが困難な交通弱者や、

買い物困難者と言われるような方が存在することは認識しております。

高齢者の問題

質問 10月20日、台湾に教育旅行誘致のトップセールスに行きました。そのときには教育連盟総会長のセツ会長より来年2月に72名の南伊豆町への訪問を約束されました。

質問 11月24日には台湾中国青年救国団との間で、青少年の夢を育む交流事業推進に向けた宣言書の取り交わしをし、今後はこの交流事業を有効活用した青年交流の推進についても、適切に対応してまいりたい。



質問 高齢者による交通事故が大変増えていますが、その中で前にも、高齢者の通院や買い物、足の確保との質問をしましたが、その中でデマンド方式の導入も含めて検討していくと言つていましたが、その後、どのように経過しているのか。又、免許証の返納の考え方などが極めて重要である。中

学校間における交流や、世代化の交流に必要な場の提供が極めて重要である。中

國青年救国団との間で、青少年の夢を育む交流事業推進に向けた宣言書の取り交わしをし、今後はこの交流事業を有効活用した青年交流の推進についても、適切に対応してまいりたい。

質問 高齢者の足の確保を今後

あるが、今後そういう子供

町長 教育旅行においては、受け入れを考えているのか。そして、どのようにそれをつなげていくのか。

質問 今後子供達を海外に派遣するというような考え方はあるのか、個人では大変お金かかるという事が

町長 教育旅行においては、受け入れを考えているのか。そして、どのようにそれをつなげていくのか。

質問 今後の石廊崎の事業をどのように考えて進めて行くのか。



町長 29年度早々に残りのガラス温室を解体し、石廊崎漁港から延びる既存町道及び新設の駐車場へと接続

町長 教育旅行においては、受け入れを考えているのか。そして、どのようにそれをつなげていくのか。

質問 今後の石廊崎の事業をどのように考えて進めて行くのか。

町長 29年度早々に残りのガラス温室を解体し、石廊崎漁港から延びる既存町道及び新設の駐車場へと接続

する石廊崎支線道路の2期工事に着手し、同年度後半には同駐車場整備を完了し、30年度にはフルオープンとする予定であります。

防災対策



比野下文男 議員

質問 海岸13地区を4地域で開催された津波対策検討協議会の進捗状況は。

町長 昨年より数回開催し本年11月末を持って、地区の総意に基づく回答書を所管する県土木に提出しました。

地域整備課長 最終的には29年3月末までに答申が公表になると思います。

質問 国交省は耐震改修に対する補助金を30万円上乗せすると決めたが、本町は認められる自治体であるか。

質問 平成27年度末で住宅耐震化率は62%で、木造耐震補強助成実施戸数は14年間でわずか8軒である。平成32年度末までに、県同様震補強助成目標としているが、後4年余りで約32%の耐震化率の達成は厳しいのではないか。机上の目標ではないです。町民の命、財産を守る為一層積極的な啓発活動が必要では。

質問 今年の水質検査結果は子浦はAAで弓ヶ浜は大腸菌数3つにより下のランクAであった。原因は公共下水道等や合併浄化槽の普及、推進にも関わらず単独浄化槽の家庭からの生活排水が未処理のまま放流さ

質問 県、町、管理業者、そして広報掲載等により強力な行政指導を願いたい。

教育長 審議委員は5名おり調査研究を進めるも多数の貴重な文化財選定に苦慮している。今年度中に確定し、来年度の諮問、答申を経て指定等の公表の段階へ進めたいと考えています。

地域整備課長 耐震化緊急促進区域を策定業務しないと受け取りは無く、本町も他の市町もやっていません。

町長 熊本地震を踏まえ9月に、さらに12月に最大で補助額を100万円までの補正予算を計上審議中です。担当職員等は更なる見直しを進め、耐震化率の向上に努力しておりますが、費用が非常に大きくなるので、遅々として進まないのが現状です。

海水浴場等の水質汚染



町長 現状下水道処理区域内戸数は1,137戸に対し584戸で接続率は51.4%です。合併浄化槽で町補助金を利用した世帯のみ88戸でその世帯を除いたおおむねが単独浄化槽の1,200世帯程度となるかと思います。

質問 公共下水、合併処理世帯は町全体で何%か。

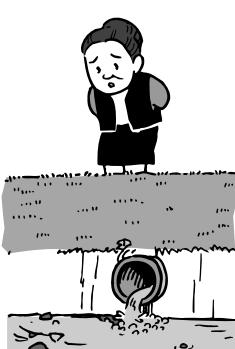
町長 町補助金による污水処理済み世帯の比率は約45%程度で、ほか補助を使用してない世帯もあります。

教育長 審議委員は5名おり調査研究を進めるも多数の貴重な文化財選定に苦慮している。今年度中に確定し、来年度の諮問、答申を経て指定等の公表の段階へ進めたいと考えています。

れているのが汚染の一つの原因と考えられる。平成28年度も8か月経過したが、共下水道区域での接続率は何軒で何%か。また下水道設置の世帯は何軒あるか、それ以外は単独浄化槽ですか。何軒あるか。

おり、更なる強化に努めてまいります。

町文化財の指定



質問 わが町内には国、県指定の文化財があるが、町指定は無い。町文化財保護条例が施行され38年が経過、近隣市町にはいくつかの指定文化財がある。わが町にないことは非常に残念です。

例えば各町内に数百年の歴史を刻み郷土芸能として祭典があり、その奏する歌舞(うたまつり)などの神楽などは。



岡部克仁議員

一億総活躍社会

質問 一億総活躍社会に向けてのプランの内容では、若者も高齢者も女性も男性も障害のある人も一度失敗を経験した方も一人一人が家庭や地域や職場で自分の力を発揮し生きがいの持てる社会であり、あらゆる場で活躍できる全員参加型社会としていますが、それについて当町の取り組みは。

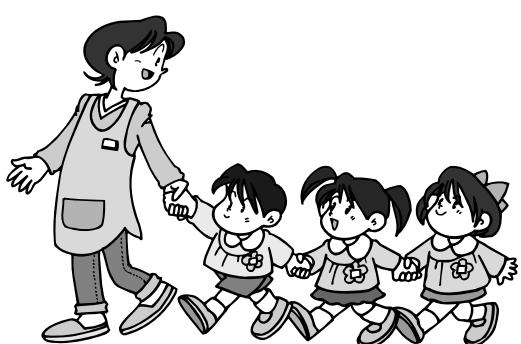


して安心につながる社会保障などを柱とした緊急対策を掲げております。本町においても国の施策に沿った中で総合計画、過疎計画、まち・ひと・しごと総合戦略などとの整合性を図りながら対応が可能なものから着実に取り組んでまいります。

質問 働き方改革の中で、103万円の壁が撤廃される方向で、そうなると就労時間が長くなったり、観光立町の当町では観光施設、サービス業の他、看護師、介護士さん等、日曜勤務の方が増えてくると考えられる。子育て支援という面からも国の施策の一環として認定こども園の日曜、祝日の開園についての考えは。

質問 保育所に入れる条件として、親の就労が大前提として、日曜、祭日の必要性というのが今までとは大きく違っていると思います。南伊豆が先駆け的に動くこ

町長 平成26年度からは、土曜日の保育時間を半日から一日に変更した中で保育士の配置状況などから南伊豆認定こども園において実施していますが、休日保育となりますと保育ニーズや財源のほか、近隣自治体も含めて保育士確保が課題とされている現状を鑑みて対応はかなり難しいのではないかと思料するものであります。



質問 ビジターセンターが開設となり、NPO伊豆未来塾、商工会青年部、みんなのキッズという子育て支援サークルの皆さんも利用を考えておりますが今後修繕をふくめてどの様に考えるか。

町長 賃貸契約なのでどこまで財源を投入していくのか色々検討することがあります。まちづくりに大切な組織の皆さんのお出してくれたアイディア、活動を無駄にするような事はしないようになります。

とを含め近い将来、日曜、祭日の開園が出来るような動きへの考えは。

町長 行政がどれだけ色々な事ができるかという事はやはりこれから考えていかなければならぬと思います。ただ、今すぐ休日保育をということはなかなか難しい問題であります。

教育長 2日は郷土の日として小、中学校は休みになります。1日については、各区からの参加要請があった児童、生徒につきましては参加出来るように配慮していると学校より報告を受けています。

地方創生

質問 地域マリナティー

質問 11月に行われる祭典について2日は休日となるが1日の各学校の対応は。

町長 少子高齢化に直面した我が国経済の活性化施策の中で、新第一の矢として希望を生み出す強い経済、新第二の矢として夢を紡ぐ子育て支援、新第三の矢と



横嶋 隆二 議員

猪鹿の生息状況と被害対策

質問 猪、鹿、猿、が増加傾向だ。国は、鳥獣対策の実施隊設置を促し、長野県では69の市町村で設置。静岡県での設置は富士宮市と静岡市だけ。観光客も多い湊地域住宅地で、猪が出る回数が多くなり、子供が自転車で猪に衝突しそうになると。自動販売機で飲物を買う観光客の後ろを猪が通るなど、人的被害が起きたら、観光地のイメージ、住民に与える不安があり、抜本的な対策が必要。湊地区は下田市の田牛と接しており、湊で鹿が出たら大混乱止区域になっている。田牛側2地区は、特定獣具(銃)禁止区域になっている。田牛まで鹿が進出してきており、湊で鹿が出たら大混乱

質問 10月3日、県の土木事務所主催による弓ヶ浜海

湊地区的津波防災対策

質問 効果的な対策は非常に難しい。議員の提案も検討していきたい。捕獲従事者の確保については、人事管理の部分で、総務のほうと何とか増やしたい。

遊休農地・荒廃地区対策と農業振興

質問 遊休農地を農地転用可能か否かの区分けができるのか。伊豆縦貫自動車

まちづくりの現状と課題と展望

質問 地熱発電計画で報告をされた掘削地点が変わる

になる。特定獣具の禁止期限は、平成37年度まで続く。解除の取り組みとタライ岬から湊の清掃センター近くまでの境界線に柵を設置することを提案する。

観光関係者に反対の声がある一方、命を守る切実な声もある。景観も安全も守る対応策、コンクリート防潮堤だけではない選択肢はどうなのかな。

町長 県あるいは町が決めるという声が拡散しているが、この事業は、あくまでも地区の総意の下に進めていくもの。

町長 遊休農地の攻勢的利活用の推進は、JAや賀茂農林事務所などと連携し、農業所得や勤労意欲の向上の観点から、適切なアドバイスや指導・支援について準備してゆく。伊豆縦貫自動車道の残土候補地に関する問合せはあるが、現時点で残土無い。残土受け入れに関する正式な意向調査があれば、吉祥町有地や共立湊病院跡地などへの利活用を検討したい。

町長 うわさに基づくようなことを公の場で言わるのは心外。

質問 入魂で話した上でのこと。圧力をかけて、同意を強制するような行為は止めになるべきだ。

岸の防潮堤説明会があつた。一般住民には初めての説明だが、決定までの推移・プロセスはどうなのか。安政地震の津波では、老女が1人亡くなつた記録があるが、多くの住民や観光施設、宿泊施設がある現在、甚大な被害が起きる。台風時の高潮による道路越波対策の要望も出ている。

町長 遊休農地と荒廃地との区分判断については、農業委員会の調査に委ねている。除草景観対策促進については、土地所有者・管理者責任者等へのPRに努める。

町長 南伊豆町が主体。大きい事業をやるのに、全部賄うこととはできない。

道トンネル掘削残土埋立ての場合畠地転換がなされる。三井不動産の関係者が住民の合意を得るのに地権者を回った話は事実か。どこが物の展望は。

町長 南伊豆町が主体。大きい事業をやるのに、全部賄うこととはできない。



清水清一議員

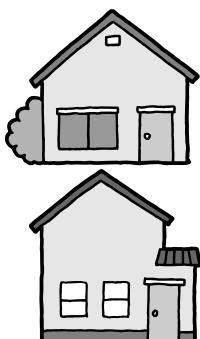
空き家適正管理に関する条例の整備を進めたい。

質問 空き家の条例をつくるときに空き地の管理のもも考えたら。

町長 空き地、空き家適正管理に関する条例の考えはやぶさかではない。

企画課長 下賀茂区内17班18班の居住者。現在、個別訪問させていただいている。

質問 この掘削地点の選定場所はどこか。



地熱資源開発と下賀茂温泉

質問 どれくらいまでの方にヒアリングを行うのか。

企画課長 下賀茂区内17班

企画課長 地域を絞り、調査井を開ける近辺で理解促進事業を続けていく。回数的には随分やつてきた。

質問 試掘で温度が出てたら、別の場所で発電用の井戸を掘るのか。

企画課長 試掘で安定した

企画課長 もとは、旅館の旧藤波荘の川べり。今度の場所は、それから南へ200m位奥に行つたところ。

質問 調査井の直径、上部と下部は。それと深さは。

企画課長 深度は1,000～1,400m程度。地表部分で直径70～90cm程度、最終的に1,000mで10cm。

企画課長 試掘で温度の確認。温泉の噴気は、1週間以内。第二段階で今度は近隣の源泉所有者等や温泉組合の承諾が必要。新源泉を半年程度以上噴気させる。半年以上噴気してみた時点で影響ないことが確認できたら、次は発電用の生産井で、第三の確認、承認。次の段階に進むことについては、温泉組合、町民のご意見を伺っていくことになる。

質問 町主催での学習会や地区説明会の予定は。

企画課長 第1回目を12月中旬、年度末までに3～4回程度を考えている。

質問 温泉所有者の同意といふものは必要ないのか。

企画課長 半径200m以内に源泉を所有者の同意は最低限必要。それと温泉組合理事会の同意書。

質問 空き家、空き地（宅地等）の適正管理・雑草等

環境美化に協力ください」と文言を入れる。

町長 実態調査が終了後に制定の考えは。

商工観光課長 シルバーハンマーセンターと検討したい。

質問 空き地、空き家対策等の適正管理に関する条例

町民課長 29年度の固定資産税の納税通知書の封筒に「すばらしい南伊豆町の自然環境を後世に、所有地の環境美化に協力ください」と文言を入れる。

町長 10月の県温泉部会で、7月の部会では下賀茂区長の同意の添付が承認条件でしたが、居住者の意見ヒアリングシートの提出に改められた。平成29年6月をめどに、ボーリング調査を実施したい。

質問 町民に対する地熱説明会の考えは。

企画課長 半径200m以内に源泉を所有者の同意は最低限必要。それと温泉組合理事会の同意書。

未来を担う子ども達

地域に支えられて

南伊豆東中学校では、総合的な学習の時間で「郷土南伊豆町に対する理解を深め、郷土を愛する心を育てる」ことを目標に学習を進めています。1年生では、町の福祉について、2年生では、南伊豆町の産業を知ろう、そして、3年生では、地元での職業体験につなげ、キャリア教育に発展させています。

高齢者への理解とよりよい関わり方、町の産業の状況を知り、どうしたら活性化するか、働くことの大変さ、責任感などを子どもたちなりに深く学び、地域に何ができるかを考える学習になりました。

子どもたちに、このような学ぶ機会を快く与えて下さった各施設や事業所の方々に深く感謝するとともに、南伊豆東中学校が地域に温かく支えられていることを強く感じます。

子どもたちは、地域の中の一員として、さらに地域に貢献していくとする気持ちが育ってきています。これからも、子どもたちへのご支援・ご協力をお願いします。

南伊豆東中学校 鈴木元一



みなみいづ元気びと



みなみのキッズ

「みなみのキッズ」は平成27年9月に誕生した子育て支援サークルです。子供達に様々な事を体験する機会を与えたいと、体育あそび教室（年4回）や苺狩り、現代ダンスなどの「こどもの活動」と、母親達の特技を生かした講座を中心とする「教養講座」を開催し、月2回程度活動しています。託児は託児ボランティア「すまいる」さんの協力を得ながら自分達で助け合う事を目標に活動しています。

代表：稻葉理恵

お問い合わせ：南伊豆町地域包括支援センター
TEL 62-6233

町議会議員台湾トップセールス報告

概要

中国青年救国団と意見交換会

高雄市議会・高雄市国際教育の説明及び意見交換会

高雄市議会の議事視察

高雄市教育局の歓迎会へ参加（高雄市議員含む）

国立曾文高校へ現地視察

台湾国際教育旅行連盟へトップセールスを実施

建成ライオンズクラブとの親善交流会参加

平成28年10月20日～23日に、当町にて推進しているインバウンド事業について、町議会議員台湾トップセールスを実施しました。

まず、中国青年救国団の会長を訪問し、意見交換を実施しました。これをきっかけに、平成28年11月22日には、中国青年救国団の訪問団20名が南伊豆町に訪れ、“青少年の夢を育む交流事業推進宣言”を取り交わしました。

また、高雄市議会では、高雄市議会議長や教育局長らと国際教育についての現状等について意見交換を実施しました。その後、台湾国際教育旅行連盟の会長を訪問し、当町への教育旅行誘致についてセールス活動を実施しました。これを契機に、平成29年2月4日～6日にかけて国立台中文華高級中学から64名の高校生を迎える、町内各家庭でホームステイが実施されます。今後の町インバウンド事業について益々の期待をし、町議会としましても、協力していきます。



※今回、議会一メモ、くろ潮はお休みします。